

世界に誇る「もったいない」は、“規格外食品”だけでなく“廃棄されてしまう革”へ

クロコダイルやコードバンなどの“もったいないをつなぎ合わせる”ことで
「サステイナブルな価値」と「エシカル(道徳的)なデザイン」を合わせもつ

“もったいないレザー”が誕生！

「ReLEATHER」プロジェクト始動

～長財布やスマートフォンケースなどの全5アイテムが、2月下旬より販売開始～



iPhoneを始めとしたモバイル及びステーションナリー関連グッズを展開している、株式会社ヒロコーポレーション(本社:奈良県香芝市/代表取締役 向山 孝弘)と、“もったいない”を“おいしい”に変換するなど、世の中のもったいないに着目した「もったいないアクション」をプロデュース・展開する、株式会社エードット(本社:東京都渋谷区/代表取締役 伊達 晃洋)は、“もったいない”を“ライフスタイル”に変換する新アクション「ReLEATHER(リレザー)」プロジェクトをスタートし、「ReLEATHER(別名:もったいないレザー)」を使用した全5アイテムを、2017年2月下旬より全国13店舗(順次拡大予定)にて、販売開始いたします。

「ReLEATHER」は、最高級のエキゾチックレザー製品(クロコダイル・コードバン・ヘビ・オーストリッチなど)の加工過程で生まれる、色や形、手触りも異なる様々な“廃棄されてしまう革”をつなぎ合わせることで、「サステイナブルな価値」と、「リアルレザーを「使わない」という姿勢ではなく、「棄てないという」姿勢で日本の誇る職人の技術で仕上がる、倫理的・道徳的な意味を保有し、各革の持つ個性もより際立った「エシカルなデザイン」を合わせもつた、新たな革を示します。

今回発売する「ReLEATHER」シリーズには、人々が日常で手にするような「長財布」や「スマートフォンケース」「名刺入れ」などが揃い、製作過程にストーリーを持つ、魅力的な商品に仕上がりました。中でも、メインの仕上げ工程は全て日本で行っており「パイピング加工」や「へり返し合わせ」は、習得するのに10年以上かかります。時間と技術という愛情が注がれ、「ReLEATHER」の商品は、皆様のお手元に届きます。

ヒロコーポレーションが掲げる“100年先も残したい日本の職人技術と魂”によって仕上がる、この世に2つとないアイテムは、鮮やかなレザーの色合い、エキゾチックレザー独特の光沢感と重厚さが際立つ逸品です。

----- 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 -----

「ReLEATHER」PR事務局(株式会社エードット内)担当:金・奥村・水上・細矢

TEL:03-3461-0985 FAX:03-6455-0978 Email:pr@a-dot.co.jp

「ReLEATHeR」プロジェクト

ヒココーポレーションのオリジナルレザーブランドである「Rebonally (リボナリー)」とエードットの展開する「もったいないアクション」のコラボレーションから生まれた「ReLEATHeR」プロジェクト。

「ReLEATHeR (別名:もったいないレザー)」とは、
最高級の革製品(クロコダイル・コードバン・ヘビ・オーストリッチなど)の加工過程で出る、
色や形、手触りの異なる“廃棄されてしまう革”を
職人の技術によりつなぎ合わせることで創られた“魅力ある新たな革”のことで。

「ReLEATHeR」を、スマートフォンケースや名刺入れなど、人が日常で手にするアイテムに姿を変え販売することで“再利用・活用するアクション”が「ReLEATHeR」プロジェクトです。

ロゴデザイン

“廃棄されてしまう革”をつなぎ合わせることで創られた「ReLEATHeR」のように、ランダムな模様で不揃いな革を、色の違いで革の種類の違いを表現しました。また「ReLEATHeR」プロジェクトのコンセプトは、日本の文化である「もったいない精神」にあることから、日本の“和”を意識した丸みを帯びたデザインに仕上げました。



年間で生まれる 約2トンの廃材



工場・工房などから出る“廃棄されてしまう革”は、自社ブランドおよび関係値のある他社から集められたものを含めると、一ヶ月でトラック1台分(約200kg以上)、年間約2トンにもなります。

ReLEATHeRに用いられる 代表的な廃棄革



世界でも希少な革素材であるエキンチックレザーを代表する、静かな艶が生み出す最高のクラス感「クロコ・セミブリリアント」や、革のダイヤモンドと称される「コードバン」、そしてもっとも一般的で多目的に使用されている「牛革」から加工しやすい「山羊革」まで、集められる“廃棄されてしまう革”は、その量もさることながら、種類も多岐に渡ります。

ReLEATHER

Rebonally with Mottainai Action



サステイナブルな価値

エシカルなデザイン

「ReLEATHeR」。それは、廃棄されてしまう革の失われた価値を再構築することで、ロスを減少する「サステイナブルな価値」という点と、リアルレザーを「使わない」という姿勢ではなく、「棄てないという」姿勢で日本の誇る職人の技術でつなぎ合わせることで、倫理的・道徳的な意味を保有し、各革の持つ個性もより際立ったエシカルなデザインとしての特徴を兼ね備えています。

PRODUCT

「ReLEATHeR(もったいないレザー)」販売店舗一覧: <http://releather.jp/>

※全ての商品が廃棄される革で構成されるため、色・デザインなどのご要望はお受けできません。
ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

「ReLEATHeR」長財布

|

カード室10、札室3、小銭入れ1を備えた、二つ折り財布。

【インナーカラー】ブラック・キャメル 【サイズ】W19.0×H10.0cm 【価格】12,800円(税抜)



「ReLEATHeR」iPhone7ケース

|

手帳型のiPhone7専用ケース。

4つのカードポケットがあるため、交通系ICカードやクレジットカードを入れることができます。

【インナーカラー】ブラック・キャメル 【サイズ】W7.5×H14.0cm 【価格】9,800円(税抜)



「ReLEATHeR」名刺入れ

|

内ポケット2、名刺ポケット1を備えた名刺入れです。

【インナーカラー】ブラック・キャメル 【サイズ】W11.0×H7.0cm 【価格】8,800円(税抜)



「ReLEATHeR」 コインケース

|

BOX型コインケース。大きく開くので、取り出しも簡単です。

【インナーカラー】ブラック/キャメル 【サイズ】W8.0×H7.5cm 【価格】7,800円(税抜)



「ReLEATHeR」 パスケース

|

IDカードの他に、1枚収納できるパスケースです。

【インナーカラー】ブラック/キャメル 【サイズ】W7.0×H10.0cm 【価格】6,800円(税抜)



会社概要



会社名:株式会社ヒロコーポレーション

設立:平成 2年 12月

本社:〒639-0225

奈良県香芝市瓦口2315 香芝木材倉番館ビル3階

電話:0745-71-6661

ブランドWEBサイト:<http://www.rebonally.jp>

コーポレート WEB サイト:<http://www.kk-hiro.com>



会社名:株式会社エードット

設立:平成24年7月

本社:〒150-0031

東京都渋谷区桜丘町24番4号第5富士商事ビル4F

電話:03-3461-0985

もったいないプロジェクトWEBサイト:<http://mottainai-action.com>

コーポレート WEB サイト:<http://https://www.a-dot.co.jp>

製造工程

世界で二つとない「商品」の秘密

色や形、手触りも異なる様々な“廃棄されてしまう革”をつなぎ合わせた商品は、世界に「ReLEATHeR」だけと言っても過言ではありません。

“廃棄されてしまう革”のなかから、つなぐことで綺麗に見えるように革を選定し、歪みのない切れ味の良い抜き型を選び、熟練された革漉きの技術によって正確で均等な美しさが生まれます。異なる素材を貼り合わせるという作業は、デザインイメージと高度な技術のいる作業です。

「ReLEATHeR」の商品は、本来のストーリー性に加え、時間と技術、手に取る人たちへ向けた想いなど革職人の愛情が注がれ、皆様のお手元に届きます。

STEP①

失われた価値に価格を付ける意識

失われた価値の再構築には、技術が必要となります。最高級革の質を維持しつつ、職人による質の高いハンドメイド製品へと変化していくなかで、価格は親近感のあるように、そんな意識をしています。

コストダウンへの一助だけでなく、“日本の職人の技術と魂”を受け継いだ中国の職人が、一つ一つ素材に合わせた道具を選び丁寧な「革漉き」の工程を経て部品を綺麗に美しく整えます。

「長財布」の場合、1日1人が作れる数は1本のみです。

中国の工場



- 1.日本で生まれた“廃棄されてしまう革”は、中国工場に集められます。
- 2.馬や牛、山羊革といった比較的柔らかい素質を持つレザーを、各製品の型に合わせてパーツとして抜き出します。
- 3.小さい革小物を作るときには、柔軟性が無ければ曲げることができなくなり、形を形成することも難しいことから、「加工しやすくする」、商品としての「軽量化」を図る為に、革を漉きます。
- 4.革の厚みがある程度整えたところで、端材のパーツを一つ一つパッチワークに沿って縫い合わせ、化粧立ちを行います。

STEP②

逸品へと仕上げる

製品を手に取る人たちの顔を思い浮かべることで自分たちの持つ技術をより高いクオリティへと昇華させかつ惜しみなく注ぐのが、日本の匠。Made in Japanの大きな特徴の一つです。

「ReLEATHeR」のメイン工程は、全て日本でっており、習得に10年以上かかる「パイピング加工」や「へり返し合わせ」といった工程を経て「ReLEATHeR」を逸品へと仕上げます。

「長財布」の場合、1日1人が作れる数は、5本のみです。

日本の工場



- 5.各製品のインナーに使用される芯材と、エキゾチックレザー以外の素材が縫い付けられた製品が日本に到着。
- 6.表面が硬くゴツゴツしたクロコダイルやオーストリッチといったエキゾチックレザーは、美しいステッチラインを出す事が非常に難しいパーツです。縫製技術だけでなく、革のカットラインの正確さや革の重なり部分の厚さ・上下の糸調子や押さえの強さ調節など、さまざまなノウハウや技術が凝縮されており、そのため、日本でも扱える職人はごくわずかだとされます。
- 7.パイピング加工を全3工程、丁寧に行うことで、長く使えるような仕様に整えます。
- 8.インナー部分に「ReLEATHeR」を縫い、貼り付けます。最後に、糸を処理し完成です。

もったいないアクション



株式会社エードットが、2014年に発足した「もったいないアクション」。
世の中に存在する、「規格外」といった訳ありで廃棄される一級品の魚や野菜といった
“もったいない食材”を“美味しい”に変換することをコンセプトとした飲食店事業を中心に、アクションを広げています。

そして2017年、「もったいないアクション」のプロデュース事業を担う
エードットが目指すのは、飲食にとられない“新たなもったいない”の発掘です。

日本ならではの文化を、国内外に発信するためにも
「衣食住」における、あらゆる“もったいない”を“価値”に変換させていきます。

今後の展望について

コンセプト（考え方）

“もったいない”という、日本ならではの文化を国内外に発信することをミッションとし、
「衣食住」における、あらゆる“もったいない”を“価値”に変換させていくアクション。

